

# ホリデイ・インズ社

石川 藍 広重 甫  
永澤 雄 中本 武志  
西川 寧幸

# INDEX

1. 前回までのおさらい～モーターとは
2. 米国における展開
3. 日本における展開
4. 展開方法の比較
5. 比較結果と要因
6. 外的要因・内的要因説明
7. まとめ


# 前回までのおさらい

- モーターという形態でホテル業を展開
- モータリゼーション化と相まって、瞬く間に世界最大のホテル・チェーンへとの上がる
- かなりの程度、事業を多角化していたが、その後接客業に特化

# モーテルとは(復習)

- 都心部に対して、郊外に新たに誕生した地区、郊外の高速道路隣接地区にあるホテル。
- 都心部と比較して用地価格も安く、広い駐車場とゆとりある客室、食堂も外気と緑に囲まれプールアスレチックを備えたアミューズメント型施設で週末の稼働はきわめて高い。

# 米国での展開

- 
- ①米国全土に渡る展開
  - ②都市部から離れた高速道路沿いで展開
  - ③本質サービスは「リーズナブル＆ラグジュアリー」  
(ex.広い部屋、広い敷地、充実のアミューズメント施設)

# 日本での展開

- 
- ①大都市限定での展開
  - ②都市部から1km以内の市街地で展開
  - ③本質サービスは「コンビニエンス」  
(ex.ターミナル駅からの近さ)

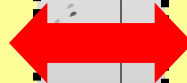
# 展開方法の比較

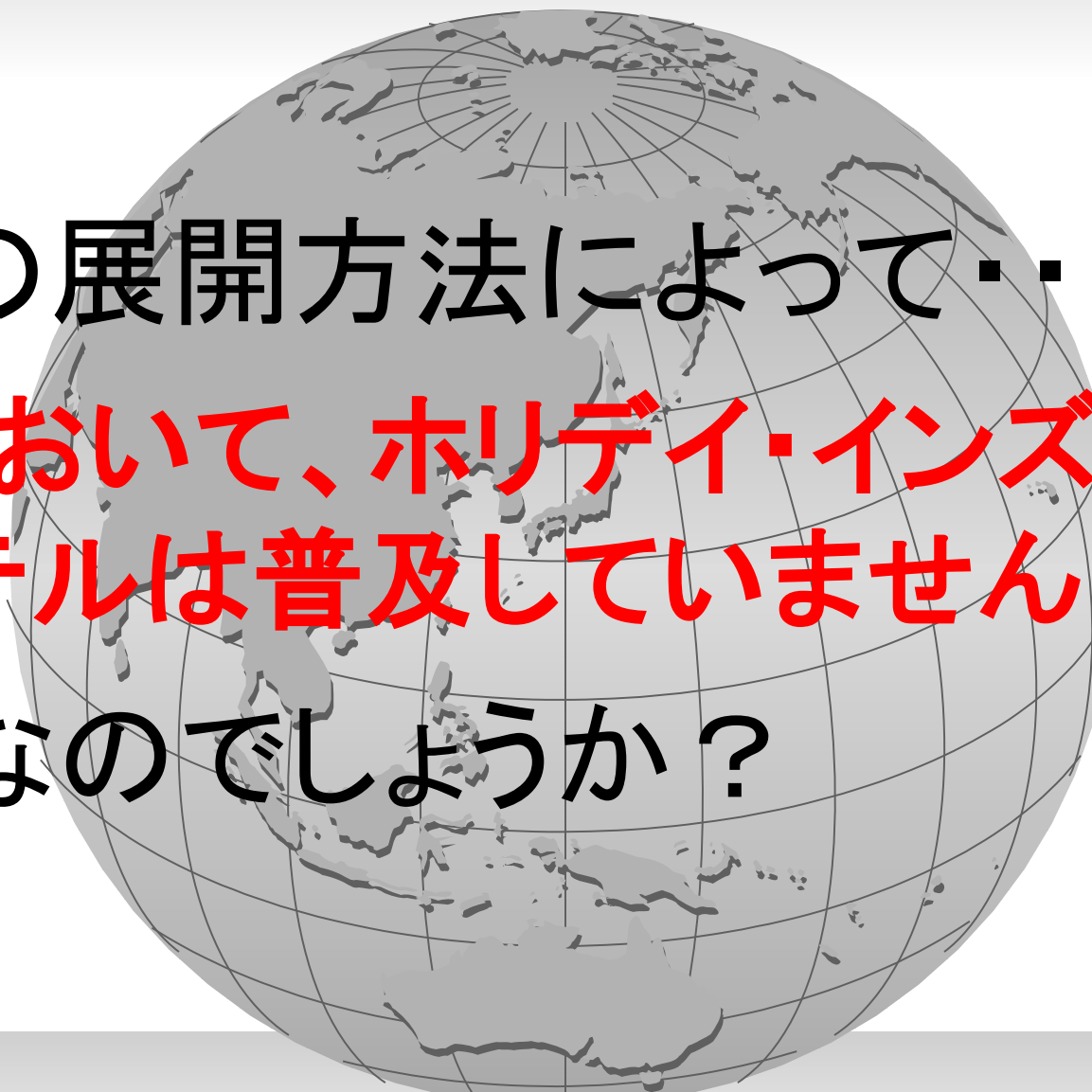
## 【米国】

- ①米国全土に渡る展開
- ②都市部から離れた  
高速道路沿いで展開
- ③「リーズナブル  
&  
ラグジュアリー」

## 【日本】

- ①大都市都限定での展開
- ②都市部から1km以内の  
市街地で展開
- ③「コンビニエンス」





以上の展開方法によって・・・

日本において、ホリデイ・インズ社の  
モーテルは普及していません。

なぜなのでしょう？



# 日本での普及を妨げている要因

## 3つの外的要因

- ① 高速道路
- ② 旅行様式
- ③ ビジネスホテル

## 3つの内的要因

- ① 出店戦略
- ② 経営方式
- ③ 本質サービス

# 高速道路

## ①料金

【米国】:ほとんどの高速道路が無料

【日本】:高い・・・東京—京都間10,500円

(東名高速→名神高速 使用)

## ②総延長距離

【米国】:インターステイト・ハイウェイ網・・・75,000km

【日本】:日本道路公団管轄高速道路網・・・6,615km

日本の高速道路は利用者に優しくない

# 旅行様式

## 米国人の一般的旅行様式(国内旅行)

- ・移動手段・・・自動車
- ・計画・・・無計画・行き当たりばったり

## 日本人の一般的旅行様式(国内旅行)

- ・移動手段・・・電車・自動車
- ・計画・・・用意周到

日本人は目的地に宿を取る

# ビジネスホテル

ホリデイ・インズ社が日本で展開するにおいて  
本質サービスと定めている「コンビニエンス」

**but**

日本には土着のビジネスホテルという文化が  
すでに、存在した。

ビジネスホテルが「コンビニエンス」という  
本質サービスを徹底的に押し出している。

既存ビジネスホテルとの差別化が果たせず、存在意義を見出せていない

# 出店戦略

- ・米国における出店・・・郊外・都市部から離れた  
高速道路沿い
  - 広い敷地の確保と安い用地価格
  - 「リーズナブル&ラグジュアリー」  
という本質サービスにフィット
- ・日本における出店・・・市街地・ターミナル駅近辺
  - 電車での移動や観光の容易化を配慮
  - 「コンビニエンス」  
という本質サービスを意識

ビジネスホテルの存在

# 経営方式

米国では**フランチャイズ経営**を敷き、  
店舗数を一挙に拡大  
→ **社会インフラとしての認識**

日本では**直営による店舗展開**であり、  
店舗数を準主要都市のみの数箇所限定  
→ **認知度の低迷・差別化困難**

# 本質サービス

- ・米国・・・「リーズナブル＆ラグジュアリー」
  - 安い宿泊費、  
郊外立地、広い敷地、快適なアメニティ
- ・日本・・・「コンビニエンス」
  - ターミナル駅近く、観光のサポート
  - 上述外的要因・内的要因を含んでしまっている

# まとめ

米国で発展を遂げたホリデイ・インズ社だが、その後、日本での経営展開は必ずしも成功していない。その経営には、以上3点の外的要因と3点の内的要因が影響を与えている。



# 次回

最終回となる次回はホリデイ・インズ社が抱える問題を踏まえた上で、今後どのように“Think Globally, Act Locally”な展開をしていくべきかの提言を行う。



# メモ

日本でホリデイインがホテルを構えているのは、  
京都・成田・仙台・高知・佐世保・神戸・長野  
かなり限られた範囲、かつある程度の大きさの都市に集中

## 【アメリカ】

インターステイト・ハイウェイ網・・・75,000km  
(日本の高速道路に相当)

ビジネスホテルとは・・・料金を抑えるために、宿泊に特化した構造になっており、客室以外の付帯施設は最小限の機能にとどめられている。ホテルによっては、人件費節約の目的で、機械によるチェックイン/チェックアウト装置が導入されている場合もある。客室タイプは、一人用であるシングルルームが多い。さらに客室の広さも最小限に抑えてあることが多い。小規模低価格。

アメリカにおいてモーテルとは社会インフラの一つである。それほど生活に密着した存在。

## フランチャイズ方式

1965年 世界に先駆けて初めてネットを使っての予約システムを完備

アメリカではフランチャイズシステムだから、あれだけの店舗数が確保できるらしい。